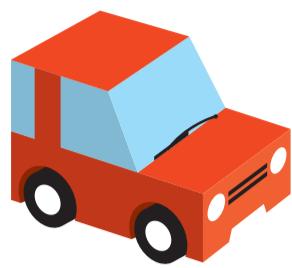


# 「自動車リサイクル」ってなんだろう?

## 小学生記者が体験取材!

第1回 自動車の解体・回収について学ぼう 北海道・MATEC石狩支店



「エアバッグは事故の時に



### たちのぼる煙とガスのにおい



「車のリサイクル」をテーマに、環境保全と、資源を無駄にしない循環型社会について考える3回シリーズの1回目は、使用済み自動車の解体・回収について学ぶため、小学生記者が自動車リサイクル工場を見学・取材したよ。

日本では年間500万台(2016年度)も販売されていましたが、使用済み自動車の解体・回収について学ぶため、小学生記者が自動車リサイクル工場を見学・取材したよ。

今はまだ車の解体工場です。

今まさに運び込まれた車の

エアバッグが開かれたところ

でした。

「エアバッグは事故の時に

大きな爆音と、たちのぼる

煙。布が外されると運転席と

助手席の「エアバッグ」がふくらんでいるのが見え、ガスのにおいがしてきました。

### 排出される車の99%をリサイクル

10年前には、日本で放置された不適正保管のため車を解体するときに爆発しては危ないので、電気を通して、あらかじめ展開させています」

(マテック・藤野さん)

すぐに関くようにガスでふくらませる仕掛けが入っています。リサイクルのため車を分離するときには、車のボディを抜き取り、工場を一時的にためておくる部品を抜き取ります。(藤野さん)

体の中には鉛などの金属が入っているので、売却されて金属の原料となります。

「バッテリーの重量、当ててみてください」(藤野さん)

「10キロくらいかな」。田代記者が大当たり。実際に持つてみるとずつりと重く、そのまま捨ててしまうのはもつたないという気持ちが生まれました。

新しい車のドアなどできれいなものはそのまま中古の部品として販売するために、外され、ピカピカにみがかれ大切に保管されます。

「こんなに細かいところまでリサイクルしているとは……」と記者のふたりも驚きの表情を浮かべていました。

みんなで役割分担しながら、無駄なくリサイクルする社会システムは「ジャパンモデル」と呼ばれて世界中から注目されています。

車のフロントガラスは、ド

リルで穴があけられ、ガリガリと切られて、外されます。

「フロントガラスは、割れて

も粉々にならないように、間

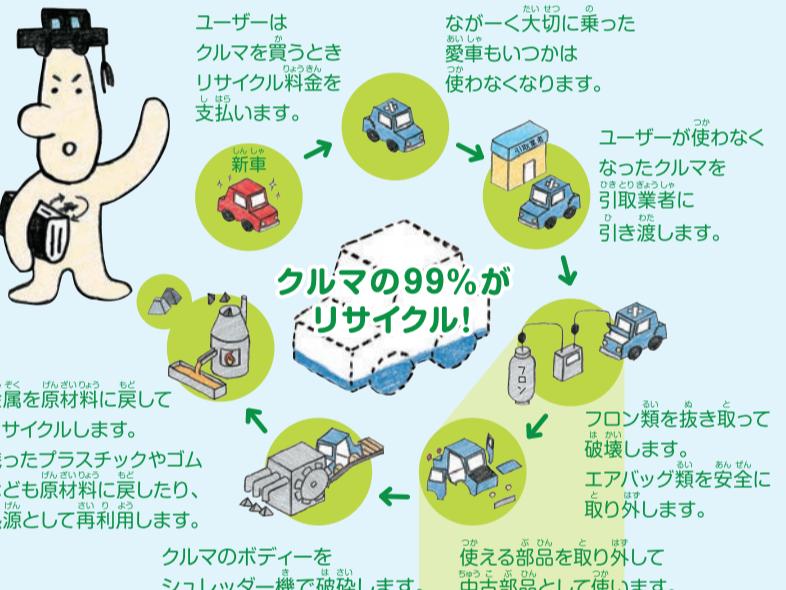
隔をして、ナンバープレートが

ビニールまで分別する

外されてから、解体工場に運び込まれます。「フロントガスを抜き取り、工場を開設させます。さらに、ラジエーターの不凍液や、ガソリン、オイルなどの液体を抜き取ります。(藤野さん)

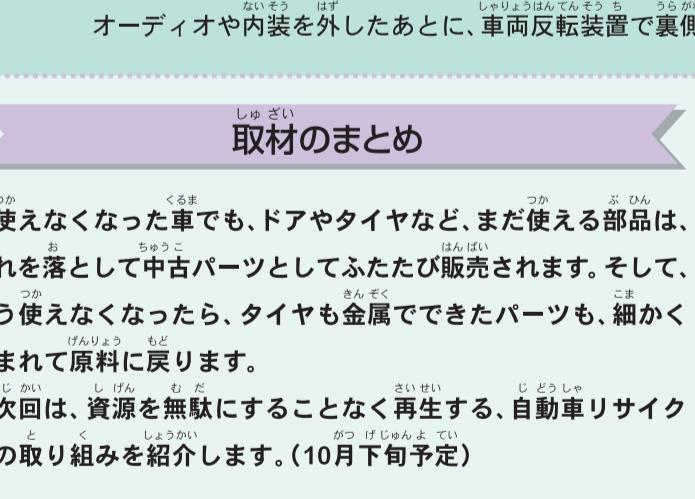
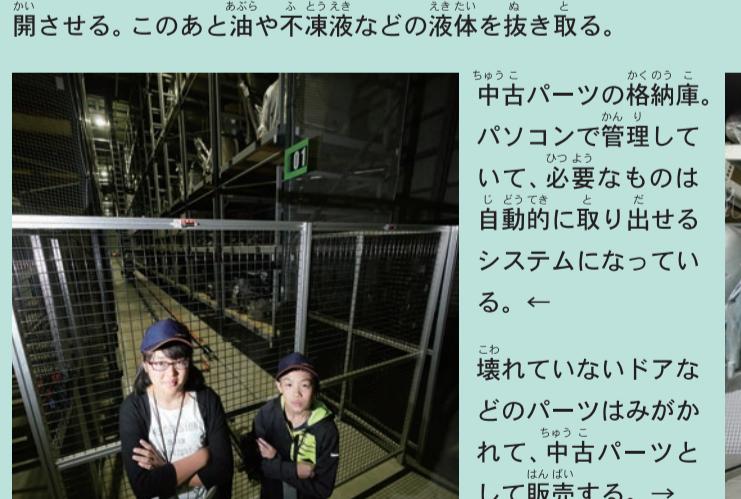
### クルマのリサイクル

#### クルマはこうやってリサイクルされるんです



この工程を見学!

### 自動車の解体・回収工程を見学! 使える部品を大切に扱います



#### 取材のまとめ

使えない車でも、ドアやタイヤなど、まだ使える部品は、汚れを落として中古パーツとしてふたたび販売されます。そして、もう使えないったら、タイヤも金属でできたパーツも、細かく刻まれて原料に戻ります。

次回は、資源を無駄にすることなく再生する、自動車リサイクルの取り組みを紹介します。(10月下旬予定)

MATEC 石狩支店

#### 自動車リサイクル Q&A

#### Q リサイクルする自動車はどうやって集めてくるんですか。

#### A 個人で車を持っているオーナーの方から引き取ったり、オークションで買ったりして集めます。

#### Q こちらでは、一年間に何台くらいの車をリサイクルするんですか。

#### A 一年で1万3千台~1万8千台くらいをリサイクルしています。

小学生記者取材後の感想



家田都也さん  
北海道札幌市6年

Q

リサイクルする自動車はどうやって集めてくるんですか。

Q

個人で車を持っているオーナーの方から引き取ったり、オークションで買ったりして集めます。

Q

こちらでは、一年間に何台くらいの車をリサイクルするんですか。

A

一年で1万3千台~1万8千台くらいをリサイクルしています。



公益財団法人  
自動車リサイクル促進センター  
Japan automobile recycling promotion center / JARC

「自動車リサイクル」を学べる動画も見られます!  
<https://www.jarc.or.jp/>